

頭頸部  
がん  
術前

キイトルーダ®による  
術前補助療法を  
受けられる患者さんへ

DIARY  
&  
MEMO

# 局所進行頭頸部がんで、 キイトルーダ®による 術前補助療法を受けられる患者さんへ

## キイトルーダ®治療日誌(術前補助療法)

監修：愛知県がんセンター 頭頸部外科部 部長 兼 副院長 花井 信広先生

この治療日誌は、頭頸部がんの手術の前にキイトルーダ®による治療を受けられる患者さんのための冊子です。

治療を順調に進めていくためには、治療の目的や副作用についてよく理解し、担当医や看護師、薬剤師をはじめとする治療チームと相談しながら進めていくことが大切です。

この治療日誌では、日ごろの体調変化や相談したいこと、伝えたいことなどを治療チームと共有しやすいように、細かくメモできるようにになっています。

より安心して治療を受けるために、ぜひ、お役立てください。



# もくじ

● 頭頸部がんについて .....	4
● キイトルーダ <sup>®</sup> による頭頸部がん治療の目的 .....	6
● 治療全体のスケジュール .....	8
● 術前補助療法について(キイトルーダ <sup>®</sup> 単剤療法) .....	10
● キイトルーダ <sup>®</sup> による治療の前に .....	12
● キイトルーダ <sup>®</sup> による治療の注意点 .....	14
● 体調がすぐれないと感じたとき .....	20
● 経済的支援について .....	22
● 術前補助療法の投与スケジュール(キイトルーダ <sup>®</sup> 単剤療法) .....	24
● 治療日誌 .....	26
● 再建手術とリハビリテーション .....	38
● 通院日メモ .....	42
● 連絡先メモ .....	43

Webサイトでもキイトルーダ<sup>®</sup>の情報がご覧になれます。

キイトルーダ<sup>®</sup>.jp

[https://keytruda.jp/head-and-neck\\_carcinoma-nac-adj/](https://keytruda.jp/head-and-neck_carcinoma-nac-adj/)

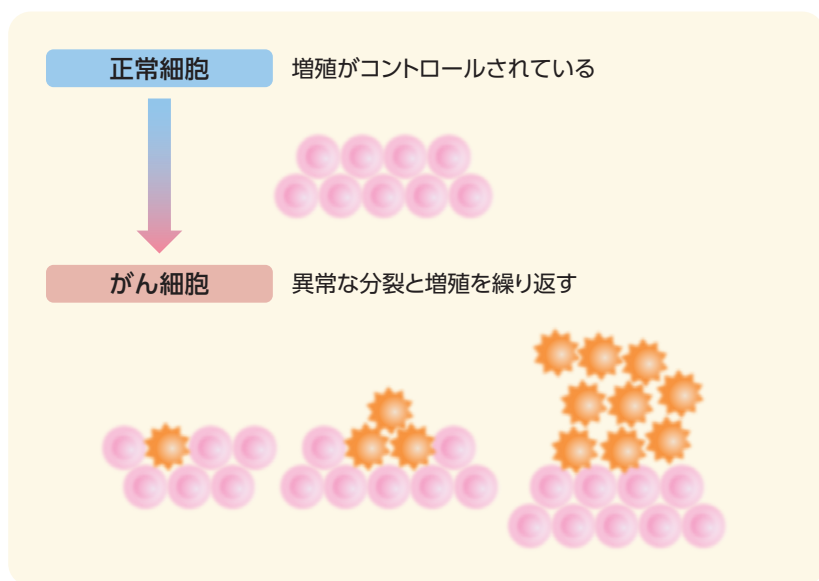


# 頭頸部がんについて

## がんとは

正常な細胞は、際限なく増殖することがないようにコントロールされていますが、なんらかの原因によりその遺伝子に変化(遺伝子変異)が起ると、細胞は異常な分裂と増殖を繰り返すようになります。このような細胞をがん細胞といいます。

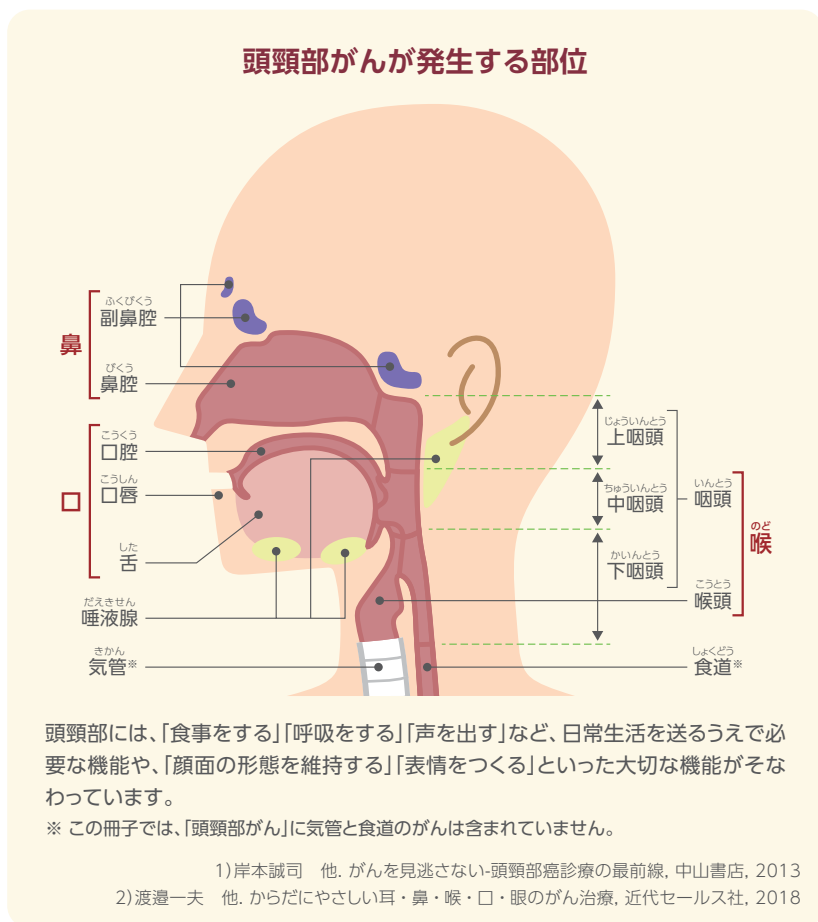
がん細胞が成長し増殖すると、がん組織のかたまり(がん)となります。



## 頭頸部がんとは

頭頸部とは、鼻、口、舌、喉、あご、耳などを含む頭部から首までの範囲をさします(脳、眼球をのぞく)。これらの器官は食事をする、呼吸をする、声を出す、聞くといった、日常生活を送る上で必要な行為と大きく関わっています。頭頸部に発生したがんをまとめて、頭頸部がんといいます。

がんが発生した部位によって、手術の方法や手術後のサポートなどが異なりますので、ご自身のがんの部位を覚えておきましょう。



頭頸部には、「食事をする」「呼吸をする」「声を出す」など、日常生活を送るうえで必要な機能や、「顔面の形態を維持する」「表情をつくる」といった大切な機能がそなわっています。

※ この冊子では、「頭頸部がん」に気管と食道のがんは含まれていません。

1) 岸本誠司 他. がんを見逃さない-頭頸部癌診療の最前線, 中山書店, 2013

2) 渡邊一夫 他. からだにやさしい耳・鼻・喉・口・眼のがん治療, 近代セールス社, 2018

# キイトルーダ<sup>®</sup>による 頭頸部がん治療の目的

キイトルーダ<sup>®</sup>による頭頸部がん治療では、手術・放射線治療・薬物療法を組み  
術前補助療法(手術前に行う治療)では薬物療法が、術後補助療法(手術後に行う  
キイトルーダ<sup>®</sup>は術前補助療法と術後補助療法の両方の治療で用いられるお薬で

## 術前補助療法(薬物療法)と手術

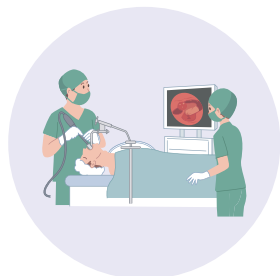
術前補助療法は、がん細胞に対する免疫の作用を高めて、がん細胞を死滅  
させる目的で行います。また、手術前に存在していた目に見えない小さな転移  
を根絶させる目的もあります。



薬物療法

キイトルーダ<sup>®</sup>による薬物療法を受けます。がん細胞  
に対する免疫の作用を高めて、がん細胞を死滅  
させます。

⇒くわしくはp.10へ



手術

がんを周囲の組織などとともに切除して取り除く  
治療法です。

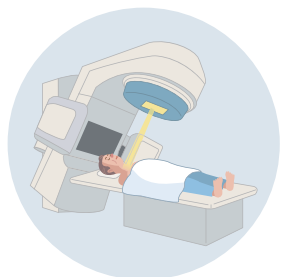
合わせて「根治」(がんを完全に治すこと)を目指します。

治療)では放射線治療と薬物療法が行われます。

す。

## 術後補助療法(放射線治療と薬物療法)

手術でがんを取り切れたように見えても、目には見えないがん細胞が体内に残っている場合があります。体内に残った小さながん細胞は再発や転移の原因となります。再発や転移の可能性を低くするために、手術後に術後補助療法を行います。



放射線治療

がん細胞に放射線をあてて、がん細胞を死滅させる治療法です。放射線治療は、がん細胞だけでなく正常細胞にも影響を及ぼします。

放射線治療はシスプラチン(薬物療法)と併用することで、がん細胞を死滅させる効果が強まることが期待されます。この治療法を化学放射線療法と言います。一方で、化学放射線療法は放射線治療単独よりも、副作用が強くあらわれることがあります。

⇒くわしくは別冊子『キイトルーダ®による術後補助療法を受けられる患者さんへ』を参照



薬物療法

キイトルーダ®とシスプラチンによる薬物療法を受けます\*。シスプラチンは抗悪性腫瘍剤の1つで、がん細胞を直接攻撃して死滅させるお薬です。

⇒くわしくは別冊子『キイトルーダ®による術後補助療法を受けられる患者さんへ』を参照

\*患者さんによっては、シスプラチンによる治療を行わない場合があります。

# 治療全体のスケジュール

- キイトルーダ®単剤の投薬
- 経過観察、副作用管理のための検査

1

## 治療開始前



- 問診、診察、診断のための検査
- 病状説明と今後の治療方針についての相談
- 治療薬剤の選択、投薬中の注意事項やスケジュールの説明

2

## 術前補助療法

〔6週間〕

キイトルーダ®を3週間  
または6週間に1回投与

⇒p.24～25参照



3

## 手術

約1～4週間入院。  
ただし、がんの状態  
(発生部位、大きさ、広がりなど)  
によって、手術の方法が異なり、  
入院期間も異なります



- がんの切除
- 再建手術 ⇒p.38参照
- リハビリテーション ⇒p.39参照

- こちらは、頭頸部がん患者さんへキイトルーダ®による術前・術後補助療法を行う際の、標準的な治療の流れを示しています。
- あなたの健康状態や治療経過によって、内容やスケジュールが異なることがあります。
- 治療の進め方がこちらの図から外れたとしても、不安に思わず、担当医の指示に従って治療を続けてください。

- キイトルーダ®の投薬+放射線治療 +シスプラチン※
- 経過観察、副作用管理のための検査

- キイトルーダ®単剤の投薬
- 経過観察、副作用管理のための検査

4

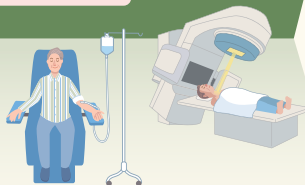
## 術後補助療法

〔45週間(約10カ月)〕

キイトルーダ®を3週間または6週間に1回投与

6～7週間にわたり、週に5日間、放射線を照射

放射線治療期間中、シスプラチンを3週間に1回投与※



5

## 経過観察

5年間を目安に、定期的に経過をみていきます

- ・1～2年目:1～3カ月ごと
- ・3～5年目:3～6カ月ごと



- 定期通院、診療、検査
- 生活指導

※ 患者さんによっては、シスプラチンによる治療を行わない場合があります。



## MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

# 術前補助療法について (キイトルーダ<sup>®</sup>単剤療法)

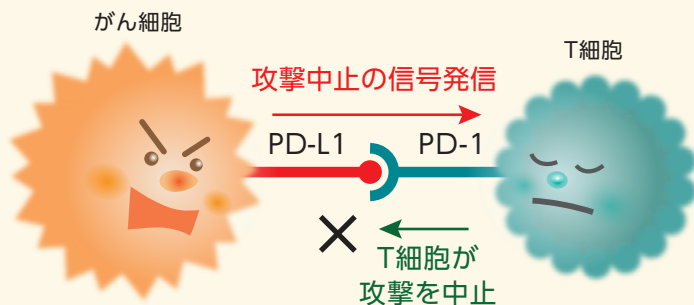
手術の前に、キイトルーダ<sup>®</sup>による治療を受けます。

キイトルーダ<sup>®</sup>は免疫チェックポイント阻害薬と呼ばれるお薬で、がん細胞に対するT細胞は白血球の一種で、わたしたちの体を異物（がん細胞やウイルスなど）から

## がんが免疫機能にブレーキをかける仕組み

ウイルスや細菌などの異物に対する防御反応である免疫は、がん細胞に対してもはたらきかけます。最近、がん細胞は自身が増殖するために、免疫の一員であるT細胞に攻撃のブレーキをかける信号を送ることがわかってきました。つまり、がん細胞は免疫の機能にブレーキをかける仕組みを使って、T細胞の攻撃から逃れているのです。

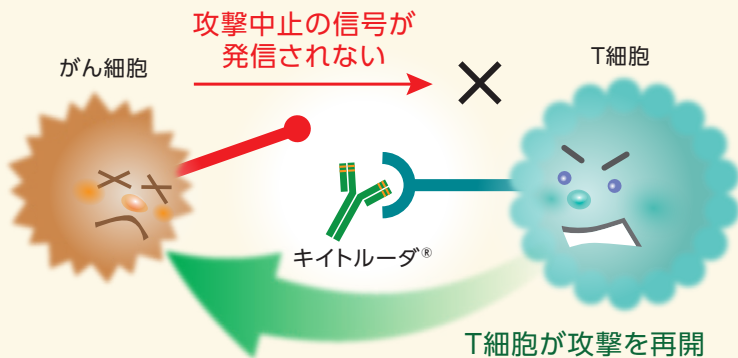
ブレーキをかける信号は、がん細胞表面にあるPD-L1<sup>（ピーディーエルワン）</sup>というたんぱく質がT細胞表面のPD-1<sup>（ピーディーワン）</sup>というたんぱく質と結合することにより発信されます。



T細胞の攻撃を強めて治療効果を発揮します。  
守る役目をもっています。

## キイトルーダ®について

キイトルーダ®は「抗PD-1抗体」とよばれる免疫チェックポイント阻害薬で、T細胞のPD-1に結合することにより、がん細胞からT細胞に送られているブレーキをかける信号を遮断します。その結果、T細胞が活性化され、抗がん作用が発揮されると考えられています。



# キイトルーダ<sup>®</sup>による治療の前に

## キイトルーダ<sup>®</sup>による治療が受けられない場合があります

キイトルーダ<sup>®</sup>は、がんの治療に使われるお薬です。

あなたの体の状態によっては、キイトルーダ<sup>®</sup>の治療が受けられないことがあります。

- キイトルーダ<sup>®</sup>に含まれている成分に対して、  
過敏症症状を起こしたことがある場合

### 【過敏症症状の例】

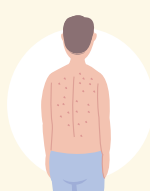
血圧の低下



意識障害



発疹



じんま疹



発熱



## キイトルーダ®による治療を始める前に確認しましょう

キイトルーダ®による治療を始める前に、以下の項目に該当する方は、必ず担当医や看護師、薬剤師にお伝えください。

- 薬や食べ物にアレルギーがある
- 自己免疫疾患※<sup>1</sup>に現在かかっているか、過去に自己免疫疾患にかかったことがある
- 間質性肺疾患※<sup>2</sup>にかかっている、または以前にかかったことがある
- 現在、使用している薬がある
- 臓器移植または造血幹細胞移植※<sup>3</sup>をしたことがある
- 結核に感染している、または過去にかかったことがある
- 妊娠している、または妊娠している可能性がある※<sup>4</sup>

※<sup>1</sup> 自己免疫疾患とは、本来自己には攻撃しないはずの免疫機能が、自分自身の身体や組織を攻撃してしまうことで生じる病態です。

例：膠原病（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎など）、クローン病、潰瘍性大腸炎、バセドウ病、橋本病、1型糖尿病など。

※<sup>2</sup> 「キイトルーダ®治療ハンドブック」をご参照ください。

※<sup>3</sup> 病気になった造血幹細胞（赤血球、白血球、血小板をつくり出す細胞）を健康な造血幹細胞と入れ替え、正常な血液をつくることができるようにする治療です。

※<sup>4</sup> 胎児への影響や流産が起きる可能性があります。また、これから妊娠を希望される女性は、キイトルーダ®による治療中および治療終了後4ヵ月間は、避妊をする必要があります。

# キイトルーダ<sup>®</sup>による治療の注意点 ①

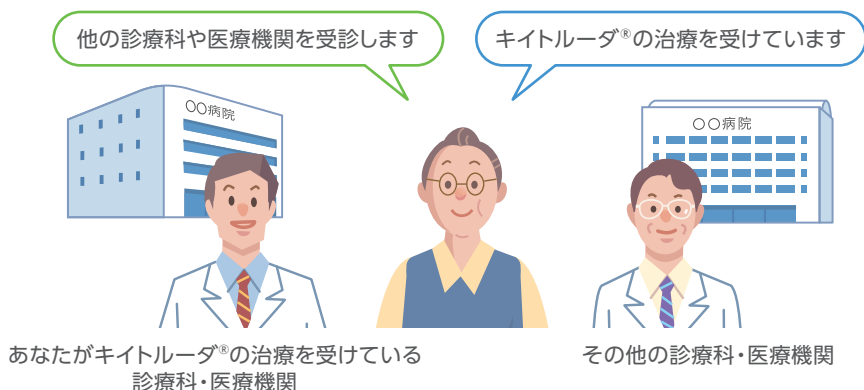
## 治療を始める前

キイトルーダ<sup>®</sup>の治療を始める前に、他の医療機関で治療を行っている疾患や服用している薬があれば、あらかじめ担当医に伝えておきましょう。

## 治療中、他の医療機関を受診する場合

治療を始めてから、他の医療機関を受診する場合には、あなたがキイトルーダ<sup>®</sup>の治療を受けている担当医に相談しましょう。なお、相談し忘れてしまった場合でも、きちんと報告することが大切です。

また、他の医療機関を受診したら、受診先の医療スタッフにもキイトルーダ<sup>®</sup>の治療を受けていることを知らせてください。



キイトルーダ<sup>®</sup>連絡携帯カードを財布などに入れて常に持ち歩くとよいでしょう。

キイトルーダ<sup>®</sup>による治療中  
又は、治療経験のある患者さんへ

・他の医療機関や診療科を受診する時には、診察を受ける医師や看護師、薬剤師に必ずこのカードを見せてください。  
・使用している薬があれば、すべての薬を医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

このカードは、常に持ち歩くようにしましょう

患者さんはキイトルーダ<sup>®</sup>による治療経験があります。

tel ( )

tel ( )

科名

● 治療期間 年 月 日 ~ 年 月 日  
● 投与間隔  3週間間隔  6週間間隔

MSD ※本カードは患者さんにお返しください。



## キイトルーダ®による治療の注意点②

### 点滴中の注意点(点滴中に起こる可能性のある副作用)

点滴中や点滴直後にアレルギーのような症状があらわれる「**点滴時の  
インフュージョン リアクション  
過敏症反応 (infusion reaction)**」が起こることがあります。

点滴中あるいは点滴後に下記のような症状があらわれた場合には、担当医または看護師、薬剤師に連絡してください。

- ✓ 皮膚のかゆみ
- ✓ じんま疹
- ✓ 声がかすれる
- ✓ くしゃみが出る
- ✓ 喉のかゆみ
- ✓ 息苦しい
- ✓ 胸がドキドキする
- ✓ 意識がうすれる
- ✓ めまい・ふらつき
- ✓ 血圧の低下

※点滴終了後、1～2時間後に症状があらわれる場合があるので注意してください。



## キイトルーダ®の特に注意すべき副作用

キイトルーダ®は、がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び活性化させるため、免疫がはたらき過ぎることによる副作用があらわれる可能性があります。

症状のあらわれ方には個人差があり、発見が遅れると重症化することや継続的な治療が必要となる場合があります。また、キイトルーダ®の特に注意すべき副作用は治療終了後にも発現する可能性があります。あらかじめ副作用の種類や症状を知っておくことは、副作用の早期発見と対処につながります。

安心して治療を続けていくためにも、次に挙げるキイトルーダ®の注意すべき副作用と症状をしっかりと確認しておきましょう。

### キイトルーダ®の注意すべき副作用

- 間質性肺疾患
- 大腸炎・小腸炎・重度の下痢
- 重度の皮膚障害
- 神経障害
  - ギラン・バレー症候群等
- 劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・  
肝炎・硬化性胆管炎
- 内分泌障害
  - 甲状腺機能障害
  - 下垂体機能障害
  - 副腎機能障害
- 1型糖尿病
- 腎機能障害
- 膵炎、膵外分泌機能不全
- 筋炎・横紋筋融解症
- 重症筋無力症
- 心筋炎
- 脳炎・髄膜炎・脊髄炎
- 重篤な血液障害
  - 免疫性血小板減少症
  - 溶血性貧血
  - 赤芽球癆
  - 無顆粒球症
- 重度の胃炎
- ぶどう膜炎
- 血管炎
- 血球貪食症候群
- 結核
- 点滴時の過敏症反応  
インフュージョン リアクション  
(infusion reaction)



次のページに具体的な症状をお示しします。

# キイトルーダ®の副作用として 予測される症状

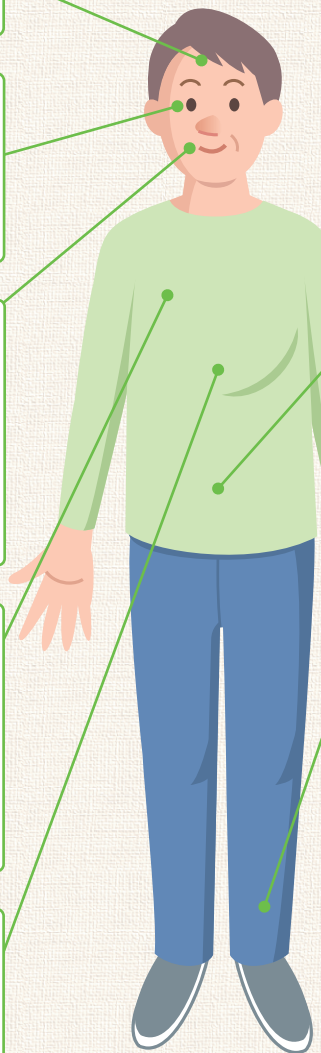
頭痛	脳炎・髄膜炎、溶血性貧血、赤芽球癆など
意識がうすれる	1型糖尿病、脳炎・髄膜炎など

見え方の異常	ぶどう膜炎
まぶたが重い・ 顔の筋肉が動きにくくなる	重症筋無力症
ものが二重に見える	重症筋無力症

口の中や喉が渴きやすい・ 多飲	1型糖尿病
歯ぐきや口内の出血	免疫性血小板減少症、 血球貪食症候群
くしゃみ	点滴時の過敏症反応
くちびるのただれ	重度の皮膚障害

咳	間質性肺疾患、結核
たん・血たん	結核、血管炎
息切れ・呼吸困難	間質性肺疾患、ギラン・バレー症候群、 重症筋無力症、点滴時の過敏症反応、 心筋炎、溶血性貧血、赤芽球癆など
胸の痛み	心筋炎

吐き気やおう吐	大腸炎・小腸炎、副腎機能障害、 脳炎・髄膜炎、1型糖尿病、重度の胃炎など
食欲不振	劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎、 下垂体機能障害、副腎機能障害、 重度の胃炎など



下痢	大腸炎・小腸炎など
ネバネバした便・血便	大腸炎・小腸炎、血管炎
油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る	膵外分泌機能不全
便秘	甲状腺機能障害、副腎機能障害、脊髄炎
腹痛	大腸炎・小腸炎、膵炎、1型糖尿病、硬化性胆管炎、血管炎
お腹が張る	劇症肝炎・肝不全、膵外分泌機能不全など
トイレが近い	1型糖尿病
血尿	腎機能障害、免疫性血小板減少症、血管炎
尿量の減少・尿が出にくい	腎機能障害、脊髄炎

手足に力が入らない	ギラン・バレー症候群、筋炎・横紋筋融解症、重症筋無力症、脊髄炎、血管炎
手指のふるえ	甲状腺機能障害など

## 全身

発熱	間質性肺炎患、大腸炎・小腸炎、腎機能障害、重度の皮膚障害、脳炎・髄膜炎、無顆粒球症、血球貪食症候群、結核など
疲れやすい・だるい	大腸炎・小腸炎、劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎、甲状腺機能障害、副腎機能障害、結核など
黄疸	劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎、膵炎、溶血性貧血
発疹などの皮膚症状	点滴時の過敏症反応、重度の皮膚障害、硬化性胆管炎、血球貪食症候群など
点状や斑状のあおあざ	免疫性血小板減少症、血管炎
血圧の左右差	血管炎
体重の減少	副腎機能障害、1型糖尿病、結核など
体重の増加	甲状腺機能障害
むくみ	腎機能障害、心筋炎
けいれん	脳炎・髄膜炎、血球貪食症候群
しびれ	ギラン・バレー症候群、血管炎

記載の症状やその他気になる体調の変化がある場合は、すぐに担当医や看護師、薬剤師にご連絡ください。



# 体調がすぐれないと感じたとき

がんの治療中は、がんそのものの影響や、薬の副作用などによって、体の不調を感じることがあります。つらい症状に適切に対処することは、治療を続けるために大切なことです。下記に日常生活のポイントを紹介します。

## 吐き気や食欲がないとき

食事や水分がとれないと、脱水になりやすいので注意が必要です。

- ▶ こまめに水分をとるようにしましょう。
- ▶ 体力を落とさないためにも、食べられる物や好きな物から少しずつ食べるようにしましょう。
- ▶ 吐き気が強いときは、刺激やにおいの強いものを避けましょう。



## 疲れやだるさを感じる時

治療中には、薬の副作用以外にも、不安やストレスなどの影響によって、疲れやだるさを感じることもあります。

- ▶ 規則正しい生活を心がけ、活動と睡眠の時間をバランスよくとりましょう。
- ▶ 自分が楽しいと感じる運動や趣味等を適度に取り入れ気分の転換をはかってみてはどうでしょうか。
- ▶ 一日ゆっくり休むなど、体調に合わせて過ごしてみましょう。



## それでも体調が悪いと感じるとき

強い疲れやだるさを感じるときは、無理をしないことと、すぐに担当医や看護師、薬剤師に相談することが大切です。

- ▶ 気になる症状がある場合には、必ず診察時に担当医や看護師、薬剤師に伝えるようにしましょう。
- ▶ 体調が悪い状態が続く場合には、すぐに担当医や看護師、薬剤師に相談するようにしましょう。



キイトルーダ®による治療で、特に注意すべき副作用と症状については「キイトルーダ®治療ハンドブック」でもう一度確認し、気になる症状が出たら、速やかに担当医や看護師、薬剤師に連絡しましょう。

# 経済的支援について

がん患者さんの医療費の負担を軽くしたり、生活を支えたりするための公的制度がいくつかあります。主なものを以下に挙げましたが、そのほかにもありますので、くわしくは「がん相談支援センター」などの各医療機関の相談窓口やお住まいの市区町村の相談窓口に見学してみましよう。

## 高額療養費制度

高額な医療費による負担を軽くするため、医療機関や薬局の窓口でご自身が支払う医療費が定められた上限額(自己負担限度額)を超えた場合、その超えた分の支給を受けられる制度です。

小冊子「キイトルーダ®による治療を受けている患者さんへ 高額療養費制度について」でくわしく説明しています。

[https://www.keytruda.jp/wp-content/uploads/sites/103/2024/05/keytruda\\_HighCost\\_Medical\\_ExpenseBenefit.pdf](https://www.keytruda.jp/wp-content/uploads/sites/103/2024/05/keytruda_HighCost_Medical_ExpenseBenefit.pdf)



## 障害年金

障害年金は、病気などで障害を生じた人が、働くことや日常生活に支障がある場合に受け取ることができる年金です。頭頸部がん患者さんでは、手術後の発声・嚥下(飲み込み)・呼吸などの機能障害が対象となる場合があります。

障害年金は、患者さんが請求しなければ受け取ることができません。障害年金の請求には、医師が作成する診断書が必要となります。

くわしくはお近くの年金事務所、街角の年金相談センターにお問い合わせください。



# 術前補助療法の投与スケジュール (キイトルーダ<sup>®</sup>単剤療法)

## 投与スケジュール (例)

キイトルーダ<sup>®</sup>は200mgを3週間に1回投与、または400mgを6週間に1回投与します。

- ・ 200mgの場合は、3週間を1サイクルとして、2サイクル行います。
- ・ 400mgの場合は、6週間を1サイクルとして、1サイクル行います。

### ● キイトルーダ<sup>®</sup> 200mgを3週間に1回投与の場合

	1週
キイトルーダ <sup>®</sup>	

### ● キイトルーダ<sup>®</sup> 400mgを6週間に1回投与の場合

	1週
キイトルーダ <sup>®</sup>	

## 点滴のタイムスケジュール (例)


キイトルーダ<sup>®</sup> 200mgまたは400mgを約30分かけて静脈内に点滴します。



電子添文および臨床試験のタイムスケジュールをもとに記載しています。

- あなたの健康状態や治療経過によって、内容やスケジュールが異なることがあります。
- 投与スケジュールがこちらの図から外れたとしても、不安に思わず、担当医の指示に従って治療を続けてください。

キイトルーダ®

1サイクル			2サイクル		
2週	3週	4週	5週	6週	
					

キイトルーダ®

1サイクル					
2週	3週	4週	5週	6週	

MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

# 治療日誌(記入例)

## 治療日誌(1~2週目)

	日付(月/日)	1週目						
		6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11
1 ~ 2 週	診察	○						
	キイトルーダ®	○						
	体温(°C)	36.5	36.8	37.0	37.2	36.9	36.7	36.7
	体重(kg)	57.0						
3 ~ 4 週	頭部	頭痛	○					
		意識がうすれる						
	眼	見え方の異常						
		まぶたが重い						
ものが二重に見える								
口や喉	口の中や喉が渇きやすい、多飲							
	歯ぐきや口内の出血						○	
	くちびるのただれ							
胸部	咳、たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
腹部	吐き気やおう吐							
	食欲不振、腹痛、お腹が張る			○				
手・足	手足に力が入らない							
	手指のふるえ							
皮膚	黄疸、発疹などの皮膚症状							
	点状や斑状 <sup>はん</sup> のおおあざ							
便	下痢、ネバネバした便、血便、便秘							
	油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る							
尿	血尿							
	トイレが近い							
	尿量の減少							
全身	疲れやすい、だるい							
	むくみ、けいれん、しびれ			○				

体温はしっかり記録しましょう  
毎日なるべく同じ時間に  
はかるようにしましょう

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当医や看護師、薬剤師にご相談ください。



1  
2  
週

3  
4  
週

5  
6  
週

予  
備

日付(月/日)		1週目						
		/	/	/	/	/	/	/
診察								
キイトルーダ®								
体温(°C)								
体重(kg)								
頭部	頭痛							
	意識がうすれる							
眼	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	ものが二重に見える							
口や喉	口の中や喉が渇きやすい、多飲							
	歯ぐきや口内の出血							
	くちびるのただれ							
胸部	咳、たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
腹部	吐き気やおう吐							
	食欲不振、腹痛、お腹が張る							
手・足	手足に力が入らない							
	手指のふるえ							
皮膚	黄疸、発疹などの皮膚症状							
	点状や斑状 <sup>はん</sup> のおおあざ							
便	下痢、ネバネバした便、血便、便秘							
	油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る							
尿	血尿							
	トイレが近い							
	尿量の減少							
全身	疲れやすい、だるい							
	むくみ、けいれん、しびれ							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当医や看護師、薬剤師にご相談ください。



1  
2  
週

3  
4  
週

5  
6  
週

予  
備

日付(月/日)		3週目						
		/	/	/	/	/	/	/
診察								
キイトルーダ®								
体温(°C)								
体重(kg)								
頭部	頭痛							
	意識がうすれる							
眼	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	ものが二重に見える							
口や喉	口の中や喉が渇きやすい、多飲							
	歯ぐきや口内の出血							
	くちびるのただれ							
胸部	咳、たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
腹部	吐き気やおう吐							
	食欲不振、腹痛、お腹が張る							
手・足	手足に力が入らない							
	手指のふるえ							
皮膚	黄疸、発疹などの皮膚症状							
	点状や斑状 <sup>はん</sup> のおおあざ							
便	下痢、ネバネバした便、血便、便秘							
	油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る							
尿	血尿							
	トイレが近い							
	尿量の減少							
全身	疲れやすい、だるい							
	むくみ、けいれん、しびれ							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当医や看護師、薬剤師にご相談ください。



1  
2  
週

3  
4  
週

5  
6  
週

予  
備

日付(月/日)		5週目						
		/	/	/	/	/	/	/
診察								
キイトルーダ®								
体温(°C)								
体重(kg)								
頭部	頭痛							
	意識がうすれる							
眼	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	ものが二重に見える							
口や喉	口の中や喉が渇きやすい、多飲							
	歯ぐきや口内の出血							
	くちびるのただれ							
胸部	咳、たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
腹部	吐き気やおう吐							
	食欲不振、腹痛、お腹が張る							
手・足	手足に力が入らない							
	手指のふるえ							
皮膚	黄疸、発疹などの皮膚症状							
	点状や斑状 <sup>はん</sup> のおおあざ							
便	下痢、ネバネバした便、血便、便秘							
	油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る							
尿	血尿							
	トイレが近い							
	尿量の減少							
全身	疲れやすい、だるい							
	むくみ、けいれん、しびれ							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当医や看護師、薬剤師にご相談ください。



1  
2  
週

3  
4  
週

5  
6  
週

予備

日付(月/日)		( )週目						
		/	/	/	/	/	/	/
診察								
キイトルーダ®								
体温(°C)								
体重(kg)								
頭部	頭痛							
	意識がうすれる							
眼	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	ものが二重に見える							
口や喉	口の中や喉が渇きやすい、多飲							
	歯ぐきや口内の出血							
	くちびるのただれ							
胸部	咳、たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
腹部	吐き気やおう吐							
	食欲不振、腹痛、お腹が張る							
手・足	手足に力が入らない							
	手指のふるえ							
皮膚	黄疸、発疹などの皮膚症状							
	点状や斑状 <sup>ほん</sup> のおおあざ							
便	下痢、ネバネバした便、血便、便秘							
	油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る							
尿	血尿							
	トイレが近い							
	尿量の減少							
全身	疲れやすい、だるい							
	むくみ、けいれん、しびれ							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当医や看護師、薬剤師にご相談ください。



1  
2  
週

3  
4  
週

5  
6  
週

予備

日付(月/日)		( )週目						
		/	/	/	/	/	/	/
診察								
キイトルーダ®								
体温(°C)								
体重(kg)								
頭部	頭痛							
	意識がうすれる							
眼	見え方の異常							
	まぶたが重い							
	ものが二重に見える							
口や喉	口の中や喉が渇きやすい、多飲							
	歯ぐきや口内の出血							
	くちびるのただれ							
胸部	咳、たん、血たん							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
腹部	吐き気やおう吐							
	食欲不振、腹痛、お腹が張る							
手・足	手足に力が入らない							
	手指のふるえ							
皮膚	黄疸、発疹などの皮膚症状							
	点状や斑状 <sup>はん</sup> のおおあざ							
便	下痢、ネバネバした便、血便、便秘							
	油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る							
尿	血尿							
	トイレが近い							
	尿量の減少							
全身	疲れやすい、だるい							
	むくみ、けいれん、しびれ							

上記のような症状や気になる体調の変化などがあれば、すぐに担当医や看護師、薬剤師にご相談ください。

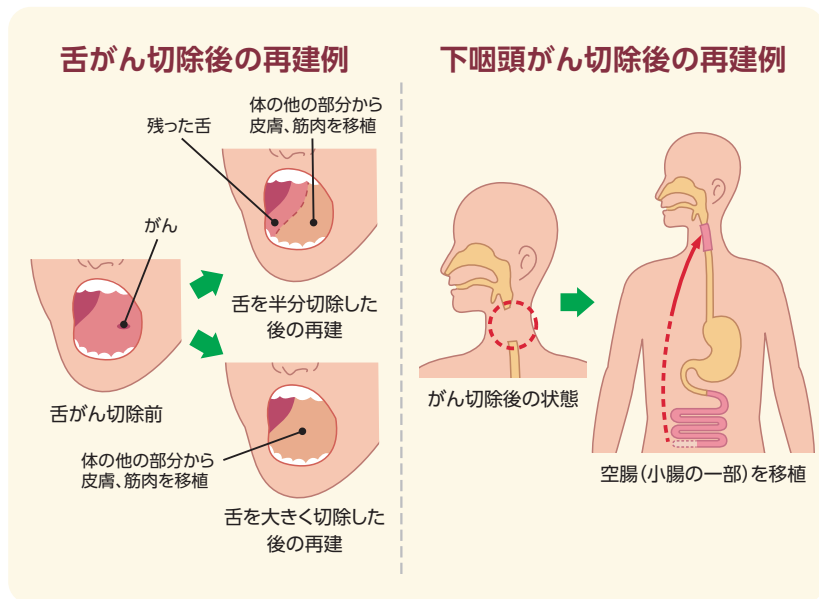


# 再建手術とリハビリテーション

## 再建手術

頭頸部には食事、会話、呼吸など、生活に必要な器官が存在しています。そのため、手術(がんの切除手術)によりこれらの器官に欠損が生じた場合、欠損部位の機能を修復したり、容ぼうを修復するために手術(再建手術)を行う場合があります。

欠損した部位の修復には、腹部や大腿部など、体の他の部分の皮膚や筋肉などを移植します。切除手術と同時に進行する場合と、切除手術後、時間が経ってから行う場合があります。再建手術は、一般に形成外科で行います。



喉頭を全摘出した後には、飲食のための食道と呼吸のための気管を分離し、気管孔(永久気管孔)を形成します(p.39の図参照)。

## リハビリテーション

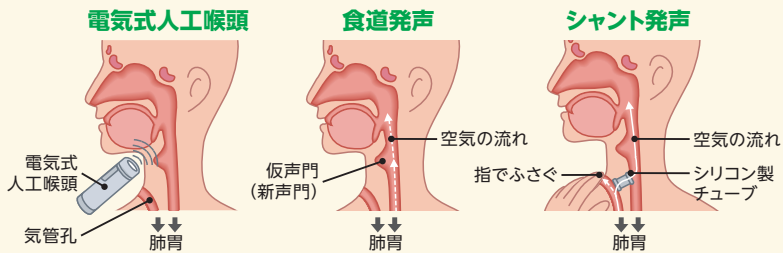
手術後に嚥下(飲み込み)や発声に障害が起こる場合があります、これらの機能を回復させるための訓練(リハビリテーション、リハビリ)が必要になります。

嚥下がうまくできない場合には、誤嚥を防ぎ、飲み込みを改善するためのリハビリを行います。嚥下の障害が強く、口から食べ物をとりにくい場合には、必要に応じて管を使った栄養補給や胃ろうが必要になる場合もあります。

喉頭を摘出して声を出せなくなった場合は、食道や器具を使った代用音声(代わりとなる音声)を習得することで、再び音声によるコミュニケーションが可能になります。これらの発声方法を習得するためにはリハビリが必要となります(下図参照)。

### 喉頭全摘出後の発声法

喉頭摘出によって困難になった発声を補う代用音声には、電気式人工喉頭、食道発声、シャント発声などがあります。



日本喉摘者団体連合会では、発声の訓練を通して社会復帰や会員の交流を図る、全国各地の発声教室が紹介されています。

<https://www.nikkouren.org/教室紹介-1/> (2026年1月アクセス)



頸部のリンパ節の切除に伴い、神経に影響が及んだ場合などには、肩の動きが悪くなる場合があります。この場合、肩の可動域(かどういき)を改善するためのリハビリを行います。

退院後も機能が十分に回復していない場合には、外来でリハビリを継続します。





# 通院日メモ

該当する箇所に  をしましょう。

次の通院日と受ける治療をチェックしておきましょう。

通院日 (月/日、曜日、時間)	/ ( ) ( : )	/ ( ) ( : )	/ ( ) ( : )	/ ( ) ( : )
キイトルーダ <sup>®</sup>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
診察・検査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

通院日 (月/日、曜日、時間)	/ ( ) ( : )	/ ( ) ( : )	/ ( ) ( : )	/ ( ) ( : )
キイトルーダ <sup>®</sup>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
診察・検査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

# 連絡先メモ

医療機関名

電話番号

担当医名

緊急連絡先

医療機関名

電話番号

担当医名

緊急連絡先

